

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 ジェイエイ兵庫六甲福祉会	代表者	山脇 利文	法人・事業所の特徴	利用者様が、地域と繋がりながら暮らし続けられるように、オアシス宝塚が、地域の一員として日常的に交流を図っていきます。 利用者様から笑顔を頂き、また、家族様から感謝されるように接しています。 職員間で、お互いを思いやり、気づかいを忘れずに行動しています。
事業所名	オアシス宝塚	管理者	伊達 清一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	0人	1人	0人	0人	21人	0人	25人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	今年度が初回	初回のため無し	利用者の情報を共有できていると感じている職員と、そうでない職員がいる。職員全員に、情報提供の場を工夫して設けてほしい。	利用者の情報共有に関しては、申し送りノート等で、記載して残る物と、職員会議や朝礼等の際、口頭で伝える形の両方で、浸透させる。
B. 事業所のしつらえ・環境	今年度が初回	初回のため無し	J Aのビルの中にあるため、雰囲気としては少し入りづらく感じる。外観からは、事業所が中にあるとわかりにくい。	J Aのふれあい会館の2階にあるため、福祉の事業を行っていることがわかりにくい。地域の茶話会等の催しで、広報活動を行い、見学や相談などにつなげていく。
C. 事業所と地域のかかわり	今年度が初回	初回のため無し	地域との関わりは、すぐにはできないものではないので、様々なイベントを通して、これからも地域の方との関係を築いていってほしい。	地域の茶話会や小学校でのグランドゴルフに、利用者に参加している。また、防災訓練等にも参加している。今後、災害等が起こった時にどんな役割が果たせるかを考えていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	今年度が初回	初回のため無し	利用者の生活スタイル、人間関係を把握されていない方が、結構いるのが気になる。利用者の情報共有のため、家族や民生委員の方々と話す機会を通してつかんでいってほしい。	利用者本人が考えている暮しと、家族が望むそれが相違していることが見受けられる。何気ない会話の中から、両者の意見を聞き取り、支援していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	今年度が初回	初回のため無し	事業所からの報告事項として、以前の会議で出たコメント等への対応状況についての報告がほしい。	運営推進会議でのコメントや意見に対して、その後の対応状況等を報告する。
F. 事業所の防災・災害対策	今年度が初回	初回のため無し	防災や災害に対応するに当たり、女性職員が多く、体力的に大変ですが、宜しくお願いします。	地域性（川に囲まれた）を考慮した防災訓練を地域の方々と考えていく。